

シリーズ「職場での新型コロナウイルス感染症対策」

(その2) 喫煙所

●喫煙所は感染リスクが高い。屋外と比較して屋内の喫煙室は特にリスクが高い。喫煙するときはマスクを着けずに深い呼吸を繰り返したり会話をしたりしますので、飛沫感染が起こりやすくなります。また、屋内の喫煙室では、口を触った手で喫煙室のドアノブを持って喫煙室を出て、更に次の人がそのドアノブを触った手でタバコを持って口を触って…ということが起こるため、接触感染も起こりやすいのです。

●屋内の喫煙室は閉鎖の検討を。

屋外と比較して屋内の喫煙室では、ドアノブや照明のスイッチなど多くの人の手が触れる部分が多くなり、その分、感染のリスクも高くなります。これらの部分を薄めた洗剤に浸して絞った雑巾などでまめに拭き掃除をすると喫煙者の感染リスクは下がりますが、清掃担当者の感染と受動喫煙の両方のリスクが高くなってしまいます。また、屋内の喫煙室の換気を良くしようとすると、屋外の喫煙所と比較して対策が難しくなります。今年の4月から改正健康増進法が施行され、職場は原則屋内禁煙とされましたが、このコロナ禍が屋内禁煙の追い風となっているようです。是非、屋内の喫煙室を閉鎖することを検討してみてください。厚労省のウェブサイト「なくそう！望まない受動喫煙。」<https://jyudokitsuen.mhlw.go.jp/example/>が参考となるでしょう。

●具体的な対策は…

- ・喫煙中は会話しないようにしましょう。
- ・ドアノブや照明のスイッチなどの部分は、薄めた洗剤に浸して絞った雑巾などでまめに拭き掃除しましょう。誰がどれくらいの頻度で掃除するかということも決めましょう。
- ・喫煙所内の人の距離を最低1mは確保しましょう。同時に利用する人数を制限したり、床や地面に定位置を書いたりすると、守りやすいでしょう。
- ・喫煙所の出入口にアルコール手指消毒剤を置くと良いですが、アルコールが蒸発する前に火を扱うと引火しますので注意が必要です。
- ・多くの人が触れるものを少なくしましょう。共用の灰皿をなくして、各自が携帯灰皿を持参するという決まりにするのも一つの手です。
- ・これを機に禁煙を推進しましょう。前シリーズの**禁煙に踏み切れないあなたへ**をご覧ください。